

藤井大輔の富山市政策集（案 v1.2）

スローガン

やれっこないを、やらなくちゃ。富山市パワーアップ大作戦



2021.1.17 富山市内で雪かき街頭演説実施の様子

やれっこないを、やらなくちゃ。

藤井大輔の富山市パワーアップ大作戦

コロナ復興、高齢化、少子化、安心安全な暮らし……山積する課題の中で未来の富山市を創るには、さらなる市政のパワーアップが必要です。企業とメディアと福祉で実績を積んだ藤井大輔なら、必ず実行できると約束します。20年後も希望があふれる未来トヤマと共に作りましょう！

PR やすい 分かり 政策は伝わらなければやらないのと同じ。富山市の副市長藤井大輔が市民にわかりやすく伝え。	推進 戦略の デジタル デジタル戦略は未来に必要不可欠。専門家を招聘し、市民中心の便利なデジタル行政を推進。	藤井大輔 4つの大作戦 市長ひとりの力だけでは、富山市の未来は変えられません。市の政策形成力を高めると地元を良くしたい皆さんの力を借りることで、政策を実現できる実行力高い市政を作ります。	市役所の パワーアップ 上場企業並の戦略・マネジメント力の向上と有能な公務員が活躍できる組織改革の実現。	市民と 企業と 協働共創 富山市を大切に思うすべての人と企業と協働共創し、従来以上に地域活動を積極的に支援。
---	---	--	---	---

私は、富山市で生まれ育ち、18 歳からは県外で学び、リクルートに入社し、家庭を築きました。40 歳になって富山に戻ってきたのは、「利益を最大化するビジネスの世界では、解決できない社会課題がある」と気づいたからです。

私は、人はだれでも自分の人生を決めるべきだと思っていました。しかし、富山に戻り社会福祉の仕事をして思ったのは、そうできない人がたくさんいる現実でした。加齢により心身機能が低下すること、貧困、女性であるということを受ける生きづらさ、そして漠然とした将来への不安。学ぶ機会、挑戦する機会が提供され、努力すればうまくいくという希望を持つことが許されていた私にとってこの事実は衝撃であり、自分の思い上がりを知らされました。しかしその中で、今と未来を変えようという志を持った富山の皆さんに仲間に加えてもらい、私も富山を変えることにさらに強い情熱を持つようになり、微力ながら地域の中で社会保障と政治の仕事をさせていただきました。

私が今富山で一番必要なものは、希望と機会だと思っています。誰もが自分の人生の主人公として納得のいく選択ができること、そのために努力する機会を手に入れられることが、20 年後、その先の富山にとって必要なことだと思っています。

政治の役割は、富山に住むすべての皆さんが希望を持てることだと思っています。そんな富山市を作ることに皆さんと一緒にチャレンジさせてください。

藤井大輔の富山市パワーアップ大作戦

■ 市政の方針

希望と機会にあふれる富山市に

私が小さかった頃、未来という言葉には、もっと輝く明るい希望がありました。

しかし、今の時代、未来は必ずしも明るいものではありません。コロナ禍、少子高齢化、経済の不安。いつから、未来は不安なものになったのでしょうか。

「やれっこないをやらなくちゃ」。

希望と機会にあふれる富山市を取り戻すために、富山市をパワーアップさせる。そして富山市に住む全員が、自分の人生の主人公として希望と機会を持てるようになる。そのために藤井大輔は4つの大作戦を実行します。

◆ 4つの大作戦

従来の行政組織の手法のみでは、これからの未来を創ることはできません。

市民の皆さんが希望を持てる政策を現実のものとするには、徹底的に市の政策実行力を高めることが重要です。藤井大輔はそのために必要な4つの大作戦を考えました。

① 分かりやすいPR

どんなに素晴らしい政策でも、伝わらなければやっていないのと同じです。既存の施策でもうまく使えば地域の課題をもっと解決できるものもたくさんあります。困ったときに必要な情報を手に入れられるように市役所の情報発信のわかりやすさを向上させます。

- ・市長みずから編集長となり、SNS 発信などを通じた市民主体の分かりやすい情報発信
- ・市役所から発信される全ての情報をわかりやすく編集しデザインする、専門部署の設置
- ・防災・危機管理情報の迅速な提供

② デジタル戦略の推進

デジタル化は、未来には必須の技術です。しかし、今までの業務を単にシステムに置き換えるのだけではうまくいきません。従来の IT 化には使う人の目線が足りませんでした。デジタル化をすすめる上では必ず使う人がストレスなく使える設計を施します。

- ・行政のデジタル戦略を策定する CDO（最高デジタル責任者）の登用。世界中から公募を。
- ・使う人中心の設計を主導する UX（ユーザー体験）担当部門の設置
- ・アジャイル型開発（テストを繰り返す）の実装

③ 市役所のパワーアップ

市役所の実力を上場企業レベルまで高めます。民間企業は様々な戦略を駆使して成果を上げていますが、そのような戦略は行政の現場ではまだ普及していません。民間人材の活用、研修などを通じて市役所職員が上場企業並の企画力・実行力・マネジメント力を習得できるようにします。また、やる気のある職員はどんどん抜擢して、難易度の高い課題でも確実に成果を出せる強い市役所を作ります。

- ・民間人材や戦略策定コンサルタントを活用し、上場企業並みのマーケティング調査力およびクリエイティブ力を発揮できる環境の整備
- ・やる気のある職員の抜擢、権限移譲など意思決定の迅速化
- ・会計年度任用職員制度の柔軟な運用で、優秀な外部人材を登用

④ 市民と企業と協働共創

富山市の未来は市役所のみで創るものではありません。富山市を大切に思い行動する全ての人々が未来を創る主人公です。自治組織、ボランティア団体、企業など地域のために何かしたいという人・団体に対して、市はこれまでに以上に積極的な支援を行い共に未来を創るパートナーとして尊重します。

- ・官民連携プラットフォーム（地域のためになる活動を支援する窓口）の機能強化
- ・地区センターを軸とした自治組織との連携&時代に合わない体制の見直し
- ・市民の声を断らない、重層的な相談支援体制の強化

■ 市民が希望と機会にあふれる個別政策

藤井大輔の政策の原点は人です。あなたが自分の力だけで解決できない困りごとがあったときに、行政と社会がサポートします。

① 将来世代への投資：子育て支援、教育

現役世代の世帯収入が減少し、社会保障費が上がる中で、経済的に安心して子育てできる環境を作ることと、質の高い教育を実践します。

- ・保育環境の整備、児童相談所の機能強化、子育て支援センターの拡充
- ・子育てや介護と仕事との両立支援、女性の就労環境の向上
- ・地域に根差した義務教育学校やコミュニティスクールの検討
- ・児童生徒一人ひとりに個別化したIT教育の重点化、スポーツ文化活動の支援
- ・大学や企業の研究機関と連携し、学びたいときに学べる環境づくり
- ・世界に通用するデータサイエンス人材やスポーツ人材への育成支援

② 高齢者への配慮：介護、地域づくり

年をとっても、自分の納得できる人生を送れることが重要です。そのためには、社会の中で居場所を作り、社会参加できる機会を作ります。そしてもし、介護が必要になったときにも本人の心に向き合う質の高いケア・認知症対策を行います。

- ・ 地区センターを拠点とした、生きがい・地域の居場所づくり
- ・ 地域の助け合いや地域防災活動、地域公共交通サービスへの支援
- ・ 健康寿命延伸のための地域スポーツ文化活動への支援
- ・ 在宅医療看護介護サービスの充実、ユマニチュードの推進により、認知症になっても暮らせる街に

③ 多様な人が活躍できる社会

病気や障害、お金がないこと、性別などが、社会に参加できない理由になってはいけません。誰もが自分の人生の主人公であるために、きちんとチャレンジできる教育と就労の環境を提供します。助けを必要とする人が、きちんと行政につながれないことが一番の課題です。声を上げにくい人たちと積極的に対話し、自立に必要な支援を確実につなぎます。

- ・ 個別ニーズに応じた適切な指導および必要なサポートが受けられる体制に
- ・ ひきこもり支援や障がい者就労等を実施する民間団体との公民連携の強化、および人的物的支援の実行
- ・ 児童相談所の機能強化をはじめ、各種支援サービスの使いやすさ見直しと向上
- ・ 地域包括支援センター、保健センター、社会福祉協議会などの福祉機関の横断的な機能強化および市役所内に重層的な相談窓口機能を設置し、助けての声があげられない人や家族への支援を実現

④ 経済の活性化を担う人たちの応援

民間企業が自由な活動をする中で、地域の雇用と社会課題の解決を支える新事業の創出を積極推進します。農林水産を中心とした第 1 次産業の稼ぐ力を強化し、中山間地でのモデル事業を積極的に推進します。

- ・ 新規事業開発やグローバルをターゲットとした商品開発などマーケティング力の向上と新たな需要創出
- ・ 大都市圏からの企業誘致、サテライトオフィス、スタートアップ拠点等の施策で移住や関係人口の増加を促進
- ・ 農林水産業の地域資源を稼ぐ力に転換するための IT 化スマート化への支援および担い手不足解消のための人材マッチング支援
- ・ 中山間地等の課題先進エリアで、国や県や民間団体と連携したモデル事業を推進
- ・ 防災減災対策を軸とした効果的な道路河川橋梁等のインフラ投資による雇用創出